

# 新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日9月27日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、10月4日（火曜日）からです。

## 『日本人の肖像』

葉室 麟／著、講談社／刊、請求記号：281.04/ H,26

内容：歴史時代小説の最前線をゆく直木賞作家が、浪漫あふれる「この国のかたち」を見つめ直す。歴史人物を語った史談集と、各分野の専門家との対談集を収録する。『毎日新聞』連載を一部加筆修正し単行本化。

著者紹介：1951年福岡県生まれ。西南学院大学卒業。「蝸ノ記」で直木賞受賞。ほかの著書に「秋霜」など。

## 『東大のクールな地理』

伊藤 彰芳／著、青春出版社／刊、請求記号：290/ I,89

内容：グローバル経済の“地殻変動”を問いかける東大の入試問題から、激変する世界と日本の本質を学ぶ一冊。知識ゼロからでも読める58問を取り上げ、設問の考え方や解答例を紹介する。

著者紹介：1974年岐阜県生まれ。東大(ドイツ文学)を卒業して渡独。帰国後、河合塾の地理講師として「東大地理」を担当。東大をはじめ特定大模試や全国模試の作成に携わる。

## 『九州だからできたおもてなし』

産経新聞九州総局／著、産経新聞出版／刊、請求記号：335.2/ Ky,9

内容：ロイヤルホールディングス、岩田屋三越…。日本の1割という九州の経済圏を拠点に、なぜ5つの地方企業が極上のサービスを生み出したのか。その歴史から現在に至る姿を紹介する。『産経新聞』九州・山口特別版連載を単行本化。

## 『ローカル鉄道という希望』

田中 輝美／著、河出書房新社／刊、請求記号：686.2/ Ta,84

内容：乗客と信頼とにぎわいを取り戻した路線では、いったい何が起きているのか-? JR完全乗車のローカルジャーナリストが、12のローカル鉄道の物語を紹介。ローカル鉄道の可能性とそれを生かすための条件を整理する。

著者紹介：島根県生まれ。大阪大学卒業。ローカルジャーナリスト。日本ジャーナリスト教育センター(JCEJ)運営委員。「地域ではたらく「風の人」という新しい選択」で地方出版文化功労賞を受賞。

## 『志の輔の背丈』

立川 志の輔／著、毎日新聞出版／刊、請求記号：779.1/ Ta,94

内容：まくらは限定のツイッター、落語と社葬を結びつける人、師匠談志の斬新なお歳暮術…。1996～2014年に『毎日新聞』東京版で連載したコラム「ピーピングしのすけのふしあなから世間」の中から抜粋したベスト本。

著者紹介：1954年富山県生まれ。明治大学卒業。落語家。全国各地での落語会の他、「ガッテン!」をはじめテレビ・ラジオのパーソナリティーとしても活躍。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)